

上毛町議会議員一般選挙

任期満了に伴う上毛町議会議員一般選挙が行われます。
私たちの願いを町政に反映させる最も身近な選挙です。必ず投票に行きましょう。

■ 選挙期日(投票日)及び告示日

- 選挙期日 平成27年2月1日(日)
- 告示日 平成27年1月27日(火)
- 投票時間 7:00~20:00

■ 投票できる人

次の1及び2の要件を満たし、本町の住民基本台帳に引き続き3ヶ月以上登録されている人

1. 住所要件
平成26年10月26日までに本町に転入届を提出した人
2. 年齢要件
平成7年2月2日までに生まれた人

■ 投票所入場券

選挙期日の告示日(1月27日)以後、早急に郵送によりお届けします。

なお、投票所入場券が届いていない場合や、紛失した場合でも、投票することができますので、期日前投票所または投票所の受付にてその旨お申し出ください。

■ 期日前投票

(投票日前に選挙人名簿登録地で行う投票)

投票日に仕事、レジャー、買い物などで投票所に行けない場合は期日前投票を行うことができます。

- ・期日 1月28日(水)~31日(土)
- ・時間 8:30~20:00
- ・場所 上毛町役場 2階 第1会議室
- ・その他 投票の際は、入場券を持参してください。

※不在者投票を行うことができる指定を受けている病院、施設などに入院、入所している方は、その病院・施設などに申し出てください。

●問い合わせ先 上毛町選挙管理委員会(役場総務課内) TEL 72-3111(内線113)

■ 投票場所

- 第1投票所 南吉富小学校講堂
- 第2投票所 西吉富コミュニティセンター
- 第3投票所 たいへいの里(大平支所)
- 第4投票所 唐原コミュニティセンター

立候補の要件等

◎ 立候補できる人

1. 日本国民であること
2. 年齢満25歳以上であること
(年齢は、選挙の期日において算定)
3. 当該選挙の選挙権を有すること

◎ 立候補者受付日時及び場所

日時 平成27年1月27日(火)
8:30~17:00

場所 役場2階 大会議室
※立候補届出関係書類をお渡ししますので、印鑑をご持参ください。

◎ 立候補予定者説明会

日時 平成27年1月13日(火)
10:00

場所 役場2階 大会議室

20歳から国民年金

日本に住む20歳から60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、保険料を納めることになっています。

国民年金は、老後の生活保障だけでなく、万が一、病気やケガで障がいが残ったときや、一家の働き手が亡くなったときなど、あなたやあなたの家族を守ってくれます。

ただし、加入の届出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられないことがありますので、「あの時に…」と後悔する前に、国民年金に加入しましょう。

加入の手続きは、住民課もしくは年金事務所へお尋ねください。(20歳前に就職して厚生年金などに加入中の方は、加入手続きは不要です。)

なお、学生の方や、収入が少なく保険料の納付が困難な方の場合は、「学生納付特例」や「若年者納付猶予」など、保険料の支払いを猶予する制度がありますので、加入手続きと併せて申請してください。

●問い合わせ先

住民課 住民福祉係 TEL 72-3111(内線142)
小倉南年金事務所 TEL 093-471-8869



町長 坪根 秀介

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、希望に満ちた輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から町政の運営に温かいご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

年頭にあたり、本町の一層の躍進を期して、新春の気がみなぎるのを覚えますとともに、町民の皆様の付託に応えるべく改めてその責任の重大さを肝に命じ、町政の発展に心血を注いでまいりる決意を新たにいたしましたところであります。

さて、ご承知のように昨年末の衆議院選挙においては、自・公が圧勝し、第三次安倍内閣が発足いたしました。これまで重要施策で掲げてきた「地方創生」そして地域活性化がさらにクローズアップされることが予測されます。これを実現するには、地域独自のアイデアと方策をフルに活用し、情熱を注ぎながら、新しい日本の新しい地域創生(上毛創生)構想をより具体的かつ迅速に提示しなければなりません。日本全国で多くの地域が少子高齢化による過疎化の進行に頭を悩ませる中、とり急ぎ所得を生みだす道を探さなければなりません。雇用なきところに定住なしです。その為にも、本町では各課を連携させ、また特命班として開発交流推進班(PAD)を設置し、「仕事の創出」と「観光の創出」といった二つの柱に特化し、具体策を検討しているところです。その核となるものが今春に完成予定の上毛P・A・S・I・Cを活用した周辺の整備であります。東九州道の全線開通

は長年に亘る地域の悲願であり、日豊線・国道10号沿線といった、これまで遅れをとっていた九州の東側によりやく光が差すようになるわけですが、便利になる一方、更なる過疎化の進行や地方と都市との格差が益々広がることも懸念されます。そこで本町としては座して衰退を待つのではなく、この機をチャンスと捉え、魅力ある整備を行うことで上毛町と中津市周辺の玄関口となるこの地を生かし輝かせ、地域活性のモデルを構築し、全国へ発信してまいりたいと存じます。

また、地方創生には女性の力が大きな鍵を握ると考えます。ご承知のように先般の日本創生会議では日本の地域別将来推計人口を発表しましたが、これによりますと、二〇四〇年には多くの市町村が消滅の危機にあるというものです。確かに少子化危機と女性の関わりは密接であり、私達はこのことを十分に熟知した上で少子化対策、そして超高齢化時代へ挑んでいかねばなりません。その上で女性が子育てし易い環境とは何か、また子育てしながら活躍できる施策は何か、これらをクリアし、将来国や地域を背負って立つ子ども達の真の教育の充実がはかれるならば、人口も増加に転じるものと考えます。これ以上国の宝である子ども達を育てることに負担を感じさせることや、未来に借金を押しつけるようなことは阻止せねばなりません。こうしたことを踏まえ、上毛に暮らす人々が生き生きと輝き、健康で笑顔のあふれるまち「九州一輝く町」の創造に向けて邁進してまいりる所存であります。

町民の皆様方のご理解と一層のお力添えを切にお願い申し上げます。結びにあたり、この一年が皆様にとりまして夢と誇りのもてる素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

